

福井のママたち「エコカフェ」開催

冬の節電楽しく学ぼう



それぞれの家庭の節電術を楽しく話し合う参加者たち＝福井市文京1丁目の松本公民館

福井市の子育て支援団体「ほほほの会」が、冬の節電について話し合うエコカフェを同市内で開催している。参加するママたちからは独自のアイデアも飛び出し、にぎやかに節電術を学べる。

ほほほの会は、今夏からエコカフェを不定期に開催、会代表で節電に詳しい古石曉子さん(41)が助言してきた。

「冷蔵庫の設定を『弱』にしたら、アイスがシャーベットのみたいになっちゃった」「アルミトレイを使うと冷たくなるよ」

14日に福井市文京1丁目の

各家庭の工夫紹介→実践で料金半減も

松本公民館で開催されたエコカフェでは、ママたち7人が自己紹介を交えて互いの悩みや解決方法を出し合った。

「階段の照明は段差が見えるくらいで十分」「冬は乾きやすい素材の衣類を着る。乾燥機を使わなくてもいいから」など、それぞれの家で実践している工夫や知恵も紹介。こまめに電気を消したり、省エネ家電を買ったりするだけではない節電術も学んだ。

福井市の会社員山岸亜紀さん(38)は、4人家族でオール電化のマンション暮らし。参加する前の夏の電気代は1万2千円ほどだったが、エコカフェで学んだ節電術を実践すると半分に減ったという。

「カフェでは自分では気づかない情報が得られる」と感謝する。

古石さんは「ママ同士で集まっても、暮らしがぶりや電気を代を話し合うことは少ない。他の家庭と比べることで、電気の使い方を見直すこともできる」と参加を呼びかけている。

次回以降のエコカフェは今年11月28日と来年1月23日の午前10時～正午、松本公民館で。電気検針票を持参。問い合わせは古石さん(070・6468・4297)。(山田理恵)